

# 中学校保健体育

## 1 中学校保健体育科の指導と評価について

- (1) **育成を目指す資質・能力の三つの柱** ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P 6
- ① 何を理解しているか、何ができるか
  - ② 理解していること・できることをどう使うか
  - ③ どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
- (2) **保健体育科の目標（中学校）** ※中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編P 10
- ① 【従前】「心と体を一体としてとらえ～、生活を営む態度を育てる。」
  - ② 【現行】「体育や保健の見方・考え方を～育成することを目指す。」（柱書）  
「(1)各種の運動の特性に応じた～を身に付けるようにする。」（知識及び技能）  
「(2)運動や健康に～を身に付けるようにする。」（思考力・判断力・表現力等）  
「(3)生涯にわたって～を営む態度を養う。」（学びに向かう力，人間性等）
- (3) **学習評価の改善の基本的な方向性** ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P 5等
- ① 児童生徒の学習改善
  - ② 教師の指導改善
  - ③ 必要性・妥当性の面での見直し

## 2 体育分野の評価について

- (1) **「知識・技能」の評価** ※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P 9，46
- 学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価する。
  - 他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等として理解したり，技能を習得したりしているかについて評価する。
- ① 指導と評価のポイント  
知識と技能の関連を図りながら指導を充実した上で，知識と技能それぞれの学習状況を生徒に適切にフィードバックできるようにすることが大切である。
  - ② 評価機会と評価方法  
ア 「知識」の評価  
学習カード等：指導から期間を置かず評価  
観察評価（発言等）：評価の妥当性，信頼性等を高める工夫  
イ 「技能」の評価  
観察評価：指導後に一定の学習期間及び評価期間を設ける
- (2) **「思考・判断・表現」の評価** ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P 9，46
- 知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けているかどうかを評価する。
- ① 指導と評価のポイント  
ア 生徒が思考し，判断することができるようにするための知識や技能を検討するとともに，活用させる場面の設定やどのような活動をさせるのかについて具体化する。  
イ 判断の目安を事前に作成し，それにあてはめる形で評価することも考えられる。
  - ② 評価機会と評価方法  
学習カード等：指導から期間を置かず評価  
観察評価（発言等）：評価の妥当性，信頼性等を高める工夫
  - ③ 評価の工夫  
(例) 論述やレポート，グループでの話し合いなどの多様な活動，ポートフォリオの活用など
- (3) **「主体的に学習に取り組む態度」の評価** ※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P 9，46
- ① 指導と評価のポイント ※児童生徒の学習評価の在り方についてP 9  
公正や協力などを育成する「態度」として学習指導要領に位置付けており，各教科等の目標や内容に対応した学習評価が行われることとされている。
  - ② 評価機会と評価方法  
観察評価：指導後に一定の学習期間及び評価期間を設ける
  - ③ 評価の工夫 (例) ノートやレポート等，発言，行動観察，自己評価や相互評価等の状況
- (4) **学習評価の進め方**  
※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P 54参照

### 3 保健分野の評価について

#### (1) 観点とポイント

- ① 「知識・技能」のポイント
    - ア 「知識」:「～理解している」→「～について、理解したことを言ったり書いたりしている」
    - イ 「技能」:「～できるようにする」→「～について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、(～が) できる」
  - ② 「思考・判断・表現」のポイント  
解説の例示に記載された内容を踏まえ、実際の学習活動に合わせ、文末は「～している」
  - ③ 「主体的に学習に取り組む態度」のポイント  
文末は「～しようとしている」※児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知) P 3, 別紙 4
- #### (2) 単元の評価規準の作成
- ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P 8 2
- ① 「知識・技能」と「思考・判断・表現」は学習指導要領解説の内容や例示等を基に作成する。
  - ② 「主体的に学習に取り組む態度」は評価の観点の趣旨を参考に、実際の学習活動をイメージ
- #### (3) 観点別学習状況の評価の総括
- ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P 8 9
- ① 評価結果の A B C の数を基に総括する例
  - ② 評価結果の A B C を数値に置き換えて総括する例

### 4 中学校保健体育科における 1 人 1 台端末の活用について

#### (1) OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA) から

読解力が前回より平均得点、順位が低下。(テキストから情報を探し出す、テキストの質と信ぴょう性を評価する問題などの正答率が低い。自分の考えを他者に伝えるように根拠を示して説明することに課題。)

⇒ ①各教科等における言語能力の確実な育成、②情報活用能力の確実な育成が必要

#### (2) GIGA スクール構想

- ① 多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる
- ② 教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

#### (3) 新学習指導要領と ICT 活用の関係

※中学校学習指導要領解説保健体育編 P 2 3 8

第 2 の内容の指導に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用して、各分野の特質に応じた学習活動を行うよう工夫すること。

なお、運動の実戦では、～活動そのものの低下を招かないよう留意することが大切である。

#### (4) 1 人 1 台の ICT 端末の活用

- ① 繰り返しの視聴→個別最適な学び
- ② 即座の課題把握→思考力、判断力の育成
- ③ 学習の成果や自己変容の確認→意欲の高まり
- ④ 授業以外の場での活用→学びの広がり

#### (5) 運動・健康に関する課題と ICT 活用による生徒の期待できる姿

##### 【課題】

- ① 運動する子供とそうでない子供の二極化傾向
- ② 運動時間の減少に伴う体力の低下
- ③ 健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分

##### 【効果】

- ① 知識及び技能の習得…運動の行い方の理解、技能の習得
- ② 思考力、判断力、表現力等…自己や仲間の課題の発見、練習方法の工夫・改善
- ③ 学びに向かう力、人間性等の涵養…仲間との教え合いの充実、自己変容の確認

##### 【期待できる生徒の姿】

- ① 苦手だった運動ができるようになり、運動が好きになる。
- ② 運動することへの意欲が高まり、積極的に運動するようになる。
- ③ 自己の健康課題に主体的に取り組むようになる。

### 3 参考となる資料等について

- (1) 中学校学習指導要領(平成 2 9 年告示)解説 保健体育編(文部科学省 平成 2 9 年 7 月)
- (2) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校保健体育  
(国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和 2 年 3 月)